研究通信

No.46
1964.3刊
村落社会研究会
事務局
東京都港区芝三田
2ノ2
慶応義塾大学
沙三研究室内

本年度大会のもち方について

昨年度の総会において、本年度の大会の「課題」を決めなかつたのは、次の各種の方法が考えられたからであります。すなわち(1)会員の研究のなかにみられる共通する問題から共通課題をとりあげるか、(2)自由発表にするか、または(3)共通課題を設けても自由発表をも認めるかの三つであります。いずれの方法をとるかを決めねばなりません。そこで別記の「研究テーマ一覧表」を参照して、御意見を至急事務局までお知らせして頂きたいと存じます。共通課題名を必ず記して下さい。又自由発表希望者はその課題名を是非報告して下さい。

研究テーマ一覧表

先日往復ハガキで会員の皆様に行いました「研究テーマ」のアンケートの結果が纏りましたので報告致します。

尚、研究テーマの分類を一応試みましたが、この分類はあくまでも便宜的な分類にすぎず、不適当のものも含まれていると存じますが御了承下さい。

A 農業経済、農民層分解

矢島 武（北海道大学）
「農業経済、特に経営主体の問題」

大内 力（東京大学）
「農業問題、日本経済論」

渡辺久雄（大阪市立大学）
「農村土地問題と集落」

井森陸平（甲南大学）
「農業経営技術改良の普及の過程と要因に関する調査研究」

常盤政治（慶応義塾大学）
「農業強慌論」
小池基之（慶応義塾大学）
「日本資本主義の再生産構造と農業」
木下　彰（東北大学）
「農業経済学、地域開発論」
「部落有林野分割の影響」
「名子制度の崩壊過程」
有木純善（山形大学）
「部落有林野の解体要因に関する研究」
「林業生産共同化の問題」
菅野俊作（東北大学）
「農業経済、特に林業及び畜産経済」
吉沢四郎（農林省林業試験場）
「林業における土地利用区分の研究」
島崎　稔（中央大学）
「資本主義社会における地域的不均等発展の問題」
小林　茂（東京農業大学）
「近郊農業論」
綿谷赳夫（農業総合研究所）
「農民層分解」
「農業共同化」

安原　茂（上野学園大学）
「農民層分解と農村支配の構造」
川俣　茂（東京教育大学）
「経済発展と村落体制」
高山隆三（慶応義塾大学）
「日本資本主義の再生産構造と農業」

B　共同体、水利慣行

龍野四郎（東京教育大学）
「農業水利慣行と村落社会構造」
島谷部　仁（新潟大学）
「龍田郷における農業水利構造について」
河村　宴（東京都立大学）
「村落共同体論の再検討」

C　村落（農、山、漁村）

関　清秀（北海道大学）
「開拓村落の社会構造」
竹内利美（東北大学）
「日本村落構造の研究」
田野崎昭夫（中央大学）

（三三五）

「村落構造」

中野三郎（立正大学）

「東京近郊農村の変貌」

吉沢四郎（農林省林業試験場）

「山村社会構造の研究」

大西正美（新潟大学）

「工場誘致に伴う村落構造の変化」

中田　実（名古屋自由学院短期大学）

「志摩漁村の構造と変容」

後藤和夫（奈良女子大学）

「志摩漁村の構造と展開」

川越淳二（愛知大学）

「漁村の構造と変容」

島本彦次郎（愛知大学）

「志摩半島漁村の社会学的研究」

勝又　猛（東北大学）

「漁村の社会変動」

牧野由郎（愛知大学）

「志摩漁村の研究」

野口武徳（東京都立大学）

「漁撈民社会の構造」

中村正夫（九州大学）

「対島村落研究」

中野　卓（東京教育大学）

「大謀網漁村の社会構造とその動態」

黒崎八州次良（北海道学芸大学）

「農家の団体参加の態様について」

山本登（大阪市立大学）

「近郊農村、未解放部落及び相続分家制の研究」

布施鉄治（北海道大学）

「北海道の農村社会と農民」

松本通晴（同志社大学）

「近畿郷土村落の研究」

「日本の工業化と村落構造の変貌」

「村落構造と親族体系」

余田博通（関西学院大学）

「村落社会の構造分析」

宮本常一（日本常民文化研究所）

「村落の発達と生産生活」

二宮哲雄（高知短期大学）

「日本農村の社会構造と農民文化の研究」

生田　清（米子東高）
「山村社会」

佐々木交賢（宮城学院女子大学）
「日本農村社会構造の変動」

原　宏（福岡県立折尾高）
「近郊農村の社会変動（兼業化の問題）」

山岡栄市（島根大学）
「農村構造の変動」

菅野　正（福島大学）
「村落社会の支配構造」

山本博史（全国農業協同組合中央会）
「農協の諸問題」

坂井達朗（慶応義塾大学）
「農協組織の基礎構造」

米地　実（慶応義塾大学）
「村落における小組合の研究」

大淵英雄（慶応義塾大学）
「村落における諸集団とその関連」

「村落自治と組結合Ⅰ村落統合とその分化」

有賀喜左衛門（慶応義塾大学）
「村落における宗教・政治・経済の関連」

塚本哲人（東北大学）
「日本農村社会と農村家族の研究」

柿崎京一（東京教育大学）
「農業機械化の社会的影響」

神谷一夫（東京教育大学）
「農業共同化について」

木下謙治（山口女子短期大学）
「農村社会の構造分析」

D　地域社会、都市化

鈴木　宏（九州大学）
「地域社会変動をめぐる人間的状況」

永田文夫（常滑市立青海中学）
「農村の近代化（愛知用水にともなう）」

中野芳彦（新潟大学）
「地域開発と農業、農民の変貌」

園田恭一（東京大学）
「コミュニティ論・地域計画」

武田良三（早稲田大学）
「地域社会」

山本陽三（山口大学）

（三三五）

「地域社会の構造分析」
布施鉄治（北海道大学）
「拠点工業開発地域をめぐる周辺農村社会の近打化と産業教育」
山下袈裟男（東洋大学）
「都市、農村を含めた社会構造とその変容」
「都市の老人問題」
加藤正泰（中央大学）
「利根水域総合開発」
今野敏彦（東洋大学）
「東北地方の諸集団の研究」
斉藤吉雄（東北学院大学）
「地域社会構造論」
佐藤　勉（東北大学）
「地域社会論」
米林喜男（東洋大学）
「地域社会」
高野史男（愛知学芸大学）
「都市化」
大西正美（新潟大学）
「農村都市化の問題」
木下　彰（東北大学）
「都市化の発展と農業」
「都市化と消費パターンの変容」
福武　直（東京大学）
「農業構造改善事業および地域開発の農村社会におよぼす影響」
E、文化、慣行、宗教、信仰、意識、態度、
中野芳彦（新潟大学）
「農民意識の変革」
細谷　昂（東北大学）
「農民意識の変容と農民組織、農民運動の展開」
内山攻照（農業総合研究所）
「現代社会における農業、農民」
中野三郎（立正大学）
「農民の道徳的価値意識」
池上広正（昭和医科大学）
「下北におけるオシラ信仰」
黒崎八州次良（北海道学芸大学）
「諏訪地方の村落構造と諏訪神社の祭祀組織について」
池田義祐（京都大学）
「農村社会学　講集団、通婚圏、俗信等について」
米村昭二（岡山大学）

「祭祀組織と村落構造」
森岡清美（東京教育大学）
「民衆の生活における宗教が果す役割と意識」
堀　一郎（東北大学）
「修験道の組織とその社会機能」
箱山貴太郎
「稲荷信仰について」
住谷一彦（立教大学）
「ドイツ資本主義分析の思想体系研究」
「日本民族―文化の系譜と構造」
八木佐市（広島大学）
「村落の伝統性、変動性」
服部治則（山梨大学）
「親分子分慣行」
宮家　準（慶応義塾大学）
「修験道の組織について」

F、政治、行政、法社会学、

山岡栄市（島根大学）
「政治意識と選挙」
阿部徳三郎（山形大学）
「広域産業都市圏形成過程における現行地方自治制度の方向」

園田恭一（東京大学）
「地域住民の政治意識と政治行動」
大垣内昭雄（立教大学）
「行政広報における住民組織の役割について」
内藤完爾（九州大学）
「九州・村落、九州政治」
土居　平（九州大学）
「政治行動」
神谷　力（愛知学芸大学）
「日本近代法の成立過程における村と家」
飛沢　謙（関西学院大学）
「法律社会学」
川口　諦（農林省農業総合研究所）
「農村自治」

G、人口、労働、

関　清秀（北海道大学）
「地域開発と人口問題」
小山陽一（東北福祉大学）
「銀行労働者の階級的性格」
北川隆吉（法政大学）
「労働者及び労働組合について」
野尻重雄（京都学芸大学）
「農村人口」
川俣　茂（東京教育大学）

（三三七）

「農村人口移動」
愛甲勝矢（九州工業大学）
「職業配分と農村人口の動向」

H、家族、同族、
小山　隆（東京都立大学）
「現代家族の研究」
阪井敏郎（大阪女子大学）
「家族、女性の地位、結婚」
大山彦一（鹿児島大学）
「沖縄の家族制度の研究」
三谷鉄夫（北海道大学）
「家族、人口」
喜多野清一（大阪大学）
「家族、同族、農村」
安藤慶一郎（名古屋大学）
「農村社会学（同族に関する諸問題）」

I、教　育
加藤正泰（中央大学）
「日本の社会経済の発達における教育の役割」
木原健太郎（名古屋大学）
「農村の社会的性格が児童の行動様式に及ぼす影響」
小松洋一（宮城県立米谷工高）
「村落構造と教育――農村における学校の存立形態」

J、国際比較
森村　勝（通産省）
「アジアの工業化問題」
酒井俊二（東洋大学）
「電波の国際的交流」
鈴木栄太郎（東洋大学）
「国民社会」
村武精一（東京都立大学）
「村落構造、家族‖親族組織、祭祀組織（民俗社会‖文化の構造と変動）」（地域は日本、沖縄、フィリッピン、アメリカ）
川合隆男（慶応義塾大学）
「後進諸国を通じての村落構造の比較研究」

K、歴　史
安孫子　麟（東北大学）
「日本地主制史」
長井政太郎（山形大学）
「集落の成立過程の研究」
矢木明夫（東北大学）
「日本封建社会経済史の諸問題」
島田　隆（東北大学）
「村落構造と商品流通」
狩野英伍（仙台第二高）
「中世村落の立地について」
斉藤正二（日本大学）

「鉄道敷設にともなう近代化の研究」
米山桂三（慶応義塾大学）
「日本の近代化」
森　靖雄（愛知大学綜合郷土研究所）
「産業開発史研究」
堀口貞幸（岡谷南高）
「村落社会の歴史研究」
原　宏（福岡県立折尾高）
「日本古代の村落構造と政治、祭祀」
中井信彦（慶応義塾大学）
「農村と都市との相関関係の史的研究」
中村吉治（東北大学）
「基本的には相変らずの村落共同体。それを中心にあれこれやっていますが、幕藩体制が目下の問題です。その他、いろいろに注意して、日本の社会経済史の大成につとめています。私としては、常に村と家に中心を置いています。」

Ⅱ、理論、その他

塩入　力（山梨大学）
「理論社会学、産業社会学」
篠原武夫（東京医科歯科大学）
「社会組織とその構造」
青井和夫（東京大学）
「小集団研究」
岩見国夫（九州大学）
「デュルケームの学説研究」
佐々木交賢（宮城学院女子大学）
「社会統制論」
武田良三（早稲田大学）
「社会体制の問題」
今野敏彦（東洋大学）
「香港難民問題」
「人民公社の実態」
中田　実（名古屋目由学院短期大学）
「フランス農村社会学の研究」

事務局からのお知らせ

三十八年度会費未納および本会発足以来の未納につきまして、会員の皆様の御協力をいただきました結果、かなりの成績をおさめることができ、感謝いたします。昨年度の当番校であった関西学院大学事務局よりの引継金一九、五四四円を含めて、現在事務局に五三、〇一六円の現金が蓄積されたことを報告致します。

事務局からのお願い

○

この一年間に発表した論文、出版した著書の題名と出版所を事務局までお知せ下さい。後日、表に作成し報告したいと考えています。

○

左の三名の住所不明で事務局からの連絡ができません。住所および所属機関を御存知の方は、事務局までお知らせいただきたいと存じます。

大坪省三、北森義明、舛田忠雄

〔三三九〕